

# HP OMi Management Pack for Microsoft Active Directory

ソフトウェアバージョン: 1.00

HP Operations Manager i (Linux および Windows® オペレーティング システム)

## インストールガイド

ドキュメントリリース日: 2015 年 1 月

ソフトウェアリリース日: 2014 年 5 月



## ご注意

### 保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

### 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

### 著作権について

© Copyright 2014 - 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft グループの米国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

## ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<https://softwaresupport.hp.com/group/softwaresupport/search-result?keyword=>

このサイトを利用するには、HP Passport のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、HP Passport のサインイン ページで **[アカウントを作成してください]** ボタンをクリックしてください。

## サポート

次の HP ソフトウェアサポートの Web サイトを参照してください。<https://softwaresupport.hp.com>

このサイトでは、HP のお客様窓口のほか、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HP ソフトウェア サポート オンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HP ソフトウェアサポートの Web サイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ID を登録するには、<https://softwaresupport.hp.com> にアクセスして **[Register]** をクリックしてください。

アクセスレベルの詳細については、次の Web サイトをご覧ください。<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

## HP Software Solutions & Integrations and Best Practices

HP Software Solutions Now (<https://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>) を参照してください。このサイトでは、HP ソフトウェアのカタログに記載された製品の説明を確認したり、情報を交換したり、ビジネス ニーズを解決 することができます。

Cross Portfolio Best Practices Library (<https://hpln.hp.com/group/best-practices-hpsw>) からは、さまざまな ベスト プラクティス文書 や資料にアクセスすることができます。

# 目次

第1章: はじめに .....	6
このマニュアルで使われている略語 .....	6
関連ドキュメント .....	7
ライセンス .....	7
第2章: OMi MP for Microsoft Active Directory のインストール .....	8
インストールメディア .....	8
インストールの前提条件 .....	9
ハードウェア要件 .....	9
ソフトウェア要件 .....	9
BSM サーバでのソフトウェア要件 .....	9
OMi サーバでのソフトウェア要件 .....	10
インストール時のチェックリスト .....	11
BSM サーバ用チェックリスト .....	11
OMi サーバ用チェックリスト .....	12
Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新のインストール .....	13
分散 BSM 環境での追加のソフトウェア更新のインストール .....	13
BSM DPS での追加のソフトウェア更新のインストール .....	14
BSM GWS での追加のソフトウェア更新のインストール .....	15
一般的な BSM 環境での追加のソフトウェア更新のインストール .....	17
OMi MP for Infrastructure バージョン 1.10 のインストール .....	19
BSM または OMi での OMi MP for Microsoft Active Directory バージョン 1.00 のインストール .....	19
Linux BSM または OMi サーバの場合 .....	19
Windows BSM または OMi サーバの場合 .....	21
Operations Orchestration (OO) フローのインストール .....	22
OO フローのアップロード .....	22
ライセンスの適用 .....	23
OMi MP for Microsoft Active Directory のインストールの確認 .....	23
第3章: 作業の開始 .....	25
BSM コンソールでの作業の開始 .....	25
タスク 1: BSM コンソールへのノードの追加 .....	25

タスク2: トポロジ同期設定の確認 .....	26
タスク3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ .....	26
タスク4: 検出の確認 .....	27
タスク5: Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のア スペクトのデプロイ .....	27
タスク5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特定とデプロイ .....	27
タスク5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ .....	29
OMi コンソールでの作業の開始 .....	30
タスク1: OMi コンソールへのノードの追加 .....	30
タスク2: トポロジ同期設定の確認 .....	31
タスク3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ .....	31
タスク4: 検出の確認 .....	32
タスク5: Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のア スペクトのデプロイ .....	32
タスク5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特定とデプロイ .....	33
タスク5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ .....	34
ドキュメントのフィードバックを送信 .....	36

# 第1章: はじめに

HP OMi Management Pack for Microsoft Active Directory (OMi MP for Microsoft Active Directory) は、HP Operations Manager i (OMi) と連携し、環境内で稼働する Active Directory サーバと基盤インフラストラクチャの監視を可能にします。OMi MP for Microsoft Active Directory は、Active Directory データベースファイル、ディレクトリ情報ツリー (DIT) のディスク容量、レプリケーション、応答時間、Domain Name System (DNS)、Windows イベント ログなどのさまざまな機能を監視するための管理テンプレート、アスペクト、ポリシーテンプレートを備えています。管理テンプレートは、環境内の Active Directory サーバを監視する管理者によってシームレスにデプロイできます。

OMi MP for Microsoft Active Directory には、Active Directory サーバの状況やステータスの監視を目的とした以下のコンポーネントが含まれます。

- Microsoft Active Directory 管理テンプレート
- Microsoft Active Directory のアスペクト
- パラメータ
- 構成アイテム (CI) と CI タイプ (CIT)
- ランタイム サービス モデル (RTSM) のビュー
- エンリッチメント ルール
- 状況インジケータ (HI) とイベント タイプ インジケータ (ETI)
- トポロジ ベースのイベント相関処理 (TBEC) ルール
- グラフテンプレート
- Operations Orchestration (OO) フロー
- ツール

注: コンポーネントの詳細は、OMi Management Pack for Microsoft Active Directory のオンラインヘルプまたはオンラインヘルプの PDF 版を参照してください。

## このマニュアルで使われている略語

名称	説明
BSM	Business Service Management

名称	説明
OMi	HP Operations Manager i
RTSM	ランタイム サービス モデル
MPDVD	OMi Management Pack for Microsoft Active Directory DVD
BSM DPS	BSM データ処理 サーバ
BSM GWS	BSM ゲートウェイ サーバ
OMi MP	HP OMi Management Pack
OMi MP for Microsoft Active Directory	HP OMi Management Pack for Microsoft Active Directory

## 関連ドキュメント

BSM および Monitoring Automation についての詳細は、BSM マニュアルを参照してください。

OMi についての詳細は、次のドキュメントを参照してください。

OMi MP for Microsoft Active Directory の詳細は、次のドキュメントを参照してください。

- リリースノート
- オンライン ヘルプの PDF 版

## ライセンス

OMi MP のライセンスは、25 ライセンスがパッケージで提供されます。アプリケーションのタイプに関わらず、OS インスタンスごとに 1 ライセンスを使用します。たとえば、ライセンス パックには、OMi MP for Microsoft SQL Server のライセンス 5 個、OMi MP for Oracle Database のライセンス 10 個を、サポートされているその他のアプリケーションと組み合わせて含めることができます。

Entitlement Order Number (EON) のライセンスを取得するには、[www.hp.com/software/licensing](http://www.hp.com/software/licensing) にアクセスし、HP Passport の資格情報でログインします。

ライセンスの適用の詳細は、「[ライセンスの適用](#)」を参照してください。

## 第2章: OMi MP for Microsoft Active Directory のインストール



この項では、BSM サーバ(Linux and Windows) および OMi サーバ(Linux and Windows) での OMi MP for Microsoft Active Directory のインストールについて説明します。

### インストールメディア

この項では、OMi MP for Microsoft Active Directory のインストールメディアについて説明します。OMi MP for Microsoft Active Directory は OMi MP for Microsoft Active Directory DVD (MPDVD) および電子メディアに収録されています。MPDVD および電子メディアは、英語および英語以外のロケール環境に対応しています。ロケール要件に基づき、適切なインストールメディアを使用できます。

OMi MP for Microsoft Active Directory DVD および電子メディアには、ソフトウェアおよび製品 マニュアルが収録されています。分散環境では、すべての BSM データ処理サーバ(BSM DPS)とゲートウェイサーバ(BSM GWS)にインストールする必要があります。

次の表に、MPDVD と電子メディアに収録されているドキュメントの情報を記します。

ドキュメント	場所	目的
オンライン ヘルプ	BSM コンソールの <b>[ヘルプ]</b> メニューで利用できます。  BSM コンソールから、 <b>[ヘルプ] &gt; [BSM ヘルプ] &gt; [Application Administration] &gt; [Operations Management] &gt; [OMi Management Pack for Microsoft Active Directory]</b> に移動します。  OMi コンソールの  メニューから使用可能。  OMi コンソールから、  <b>&gt;[全般的なヘルプ] &gt; [管理ガイド] &gt; [管理パック] &gt; [OMi Management Pack for Microsoft Active Directory]</b> に移動します。	次の情報を提供します。 <ul style="list-style-type: none"><li>Microsoft Active Directory 管理テンプレートの使用</li><li>Microsoft Active Directory のアスペクトおよびポリシーテンプレートの使用</li><li>HI と ETI の各インジケータおよび TBEC ルールの使用</li></ul>
インストールガイド	<MPDVD>\DOCUMENTATION\en	
オンライン ヘルプの PDF 版	<MPDVD>\DOCUMENTATION\en	



ドキュメント	場所	目的
リリースノート	<MPDVD>\DOCUMENTATION\en	次の情報を提供します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 主要な機能</li><li>• インストールについて</li></ul>

## インストールの前提条件

以下の項では、BSM (Linux および Windows) サーバおよび OMi (Linux および Windows) サーバでの OMi MP for Microsoft Active Directory のインストールに関するハードウェアおよびソフトウェアの前提条件を一覧表示します。

### ハードウェア要件

特定のハードウェア要件については、『BSM インストールガイド』を参照してください。

### ソフトウェア要件

OMi MP for Microsoft Active Directory を BSM サーバ (Windows または Linux) にインストールするためのソフトウェア要件の詳細は、『[BSM サーバでのソフトウェア要件](#)』を参照してください。

OMi MP for Microsoft Active Directory を OMi サーバ (Windows または Linux) にインストールするためのソフトウェア要件の詳細は、『[OMi サーバでのソフトウェア要件](#)』を参照してください。

### BSM サーバでのソフトウェア要件

OMi MP for Microsoft Active Directory をインストールする前に、BSM サーバへ以下のコンポーネントをインストールし、構成する必要があります。

#### BSM サーバ

コンポーネント	バージョン
BSM	9.23 以降*
HP Operations Manager i	9.23 以降*
HP Monitoring Automation	9.23 以降*
OMi MP for Infrastructure	1.10

\* サポートされている最新バージョンについては、サポート マトリックスを参照してください。

**注:** 大規模環境では、BSM 9.24 の使用をお勧めします。

#### 管理対象ノード

コンポーネント	バージョン
Operations Agent	11.13 以降*

\* サポートされている最新バージョンについては、サポート マトリックスを参照してください。

#### SiteScope サーバ

コンポーネント	バージョン
Sitescope	11.22 以降*

\* サポートされている最新バージョンについては、サポート マトリックスを参照してください。

**注:** ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイする場合、SiteScope 11.22 以上のバージョンをインストールする必要があります。

## OMi サーバでのソフトウェア要件

OMi MP for Microsoft Active Directory をインストールする前に、BSM サーバへ以下のコンポーネントをインストールし、構成する必要があります。

#### BSM サーバ

コンポーネント	バージョン
HP Operations Manager i	9.23 以降*
OMi MP for Infrastructure	1.10

\* サポートされている最新バージョンについては、サポート マトリックスを参照してください。

**注:** 大規模環境では、BSM 9.24 の使用をお勧めします。

#### 管理対象ノード

コンポーネント	バージョン
Operations Agent	11.13 以降*

\* サポートされている最新バージョンについては、サポート マトリックスを参照してください。

**SiteScope サーバ**

コンポーネント	バージョン
Sitescope	11.22 以降*

\* サポートされている最新バージョンについては、サポート マトリックスを参照してください。

注: ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイする場合、SiteScope 11.22 以上のバージョンをインストールする必要があります。

## インストール時のチェックリスト

OMi MP for Microsoft Active Directory を BSM サーバにインストールする場合は、「[BSM サーバ用チェックリスト](#)」を参照してください。

OMi MP for Microsoft Active Directory を OMi サーバにインストールする場合は、「[OMi サーバ用チェックリスト](#)」を参照してください。

## BSM サーバ用チェックリスト

OMi MP for Microsoft Active Directory のインストールでは、次の表にまとめたタスクを指定の順序で事前に実行します。

タスク	参照先
BSM のインストールに必要な前提条件のチェック	『BSM インストールガイド』の「一般的な前提条件」を参照してください。
BSM バージョン 9.20 および BSM 9.23 以上の Service Pack のインストール	『BSM インストールガイド』の「BSM 9.20 のインストール」と「最新の BSM 9.2x マイナー マイナーリリースとパッチのインストール」を参照してください。
Monitoring Automation バージョン 9.23 以降のインストール	『Monitoring Automation for HP Operations Manager i インストールガイド』の「インストールの前提条件」と「BSM サーバでの Monitoring Automation のインストールと構成」の章を参照してください。
Monitoring Automation のインストールの確認	『Monitoring Automation for HP Operations Manager i インストールガイド』の「Monitoring Automation のインストールの確認と操作」の章を参照してください。

タスク	参照先
OMi MP for Infrastructure バージョン 1.00 のクリーンアップ	OMi MP for Infrastructure バージョン 1.00 がすでにインストールされている場合は、『OMi Management Pack for Infrastructure インストールガイド』の「OMi MP for Infrastructure バージョン 1.00 の削除」を参照してください。
Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新のインストール	「 <a href="#">Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新のインストール</a> 」の項を参照してください。
注: OMi MP for Microsoft Active Directory を BSM 9.23 にインストールする場合は、Monitoring Automation 9.23 向けの追加のソフトウェア更新をインストールする必要があります。	
OMi MP for Infrastructure 1.10 のインストール	『OMi Management Pack for Infrastructure インストールガイド』の「OMi MP for Infrastructure 1.10 のインストール」を参照してください。
OMi MP for Microsoft Active Directory 1.00 のインストール	「 <a href="#">OMi MP for Microsoft Active Directory 1.00 のインストール</a> 」の項を参照してください。
ライセンスの適用	「 <a href="#">ライセンスの適用</a> 」の項を参照してください。

#### 管理対象ノード

タスク	参照先
HP Operations Agent 11.13 のインストール	『HP Operations Agent および HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure インストールガイド』の「Installing the HP Operations agent 11.13 (HP Operations Agent 11.13 のインストール)」を参照してください。

## OMi サーバ用チェックリスト

OMi MP for Microsoft Active Directory のインストールでは、次の表にまとめたタスクを指定の順序で事前に実行します。

タスク	参照先
OMi MP for Infrastructure バージョン 1.00 のクリーンアップ	OMi MP for Infrastructure バージョン 1.00 がすでにインストールされている場合は、『OMi Management Pack for Infrastructure インストールガイド』の「OMi MP for Infrastructure バージョン 1.00 の削除」を参照してください。
OMi MP for Infrastructure 1.10 のインストール	『OMi Management Pack for Infrastructure インストールガイド』の「OMi MP for Infrastructure 1.10 のインストール」を参照してください。
OMi MP for Microsoft Active Directory 1.00 のインストール	<a href="#">「OMi MP for Microsoft Active Directory 1.00 のインストール」</a> の項を参照してください。
ライセンスの適用	<a href="#">「ライセンスの適用」</a> の項を参照してください。

#### 管理対象ノード

タスク	参照先
HP Operations Agent 11.13 のインストール	『HP Operations Agent および HP Operations Smart Plug-ins for Infrastructure インストールガイド』の「Installing the HP Operations agent 11.13 (HP Operations Agent 11.13 のインストール)」を参照してください。

## Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新のインストール

注: BSM 9.23 に限り、Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新をインストールする必要があります。

OMi MP for Microsoft Active Directory をインストールする前に、Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新をインストールする必要があります。Monitoring Automation 9.24 以降のバージョンを使用している場合、この追加のソフトウェア更新のインストールは不要です。Monitoring Automation 9.23 の追加のソフトウェア更新は MPDVD に収録されています。

## 分散 BSM 環境での追加のソフトウェア更新のインストール

この項では、分散 BSM 環境でのソフトウェア更新のインストールの詳細について説明します。分散 BSM 環境では、BSM DPS と BSM GWS を異なるシステムで使用できます。追加のソフトウェア更新は、BSM DPS と BSM GWS の両方にインストールする必要があります。

分散 BSM 環境ではない場合、次の項をスキップして「一般的な BSM 環境での追加のソフトウェア更新のインストール」を参照してください。

## BSM DPS での追加のソフトウェア更新のインストール

分散 BSM 環境で動作している BSM DPS で追加のソフトウェア更新をインストールするには、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行して、現在の opr-config-content-server.war ファイルのバージョンをチェックします。

### Linux の場合:

```
cd /opt/HP/BSM/opr/webapps  
  
/opt/HP/BSM/opr/support/what.sh ./opr-config-content-server.war
```

### Windows の場合:

BSM がインストールされているドライブに移動します。

```
cd /d %TOPAZ_HOME%\opr\webapps  
  
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\support\what.vbs opr-config-content-server.war
```

**注:** バージョン番号が 09.23.174 より下である場合、次の手順に進んでください。バージョン番号が 09.23.174 以上である場合は、現在の BSM インストールに必要なソフトウェア更新が既に含まれているため、この項の残りのステップは実行不要です。

2. 次のコマンドを実行して、BSM DPS で実行中の BSM サービスを停止します。

### Linux の場合:

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm stop
```

### Windows の場合:

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStop.bat
```

3. 次のフォルダにある既存の opr-config-content-server.war ファイルをバックアップします。

### Linux の場合:

```
/opt/HPBSM/opr/webapps
```

### Windows の場合:

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

opr-config-content-server.war ファイルを別のフォルダにバックアップする必要があります。

4. HPOprMA\_update.zip を一時フォルダに展開し、opr-config-content-server.war を次のフォルダにコピーします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HPBSM/opr/webapps
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

5. 次のコマンドを実行して、ソフトウェア更新から新しい war ファイルをデプロイします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/opr/bin/oprcfg-configuration.sh -setup omi -noGW
```

**Windows の場合:**

```
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\bin\oprcfg-configuration.vbs -setup omi -noGW
```

6. 次のコマンドを実行して、BSM サービスを開始します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm start
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStart.bat
```

## BSM GWS での追加のソフトウェア更新のインストール

分散 BSM 環境で動作している BSM GWS で追加のソフトウェア更新をインストールするには、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行して、現在の opr-config-server.war ファイルのバージョンをチェックします。

**Linux の場合:**

```
cd /opt/HP/BSM/opr/webapps
```

```
/opt/HP/BSM/opr/support/what.sh ./opr-config-server.war
```

**Windows の場合:**

BSM がインストールされているドライブに移動します。

```
cd /d %TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

```
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\support\what.vbs opr-config-server.war
```

**注:** バージョン番号が 09.23.174 より下である場合、次の手順に進んでください。バージョン番号が 09.23.174 以上である場合は、現在の BSM インストールに必要なソフトウェア更新が既に含まれているため、この項の残りのステップは実行不要です。

2. 次のコマンドを実行して、BSM GWS で実行中の BSM サービスを停止します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm stop
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStop.bat
```

3. 次のフォルダにある既存の opr-config-server.war ファイルをバックアップします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HPBSM/opr/webapps
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

opr-config-server.war ファイルを別のフォルダにバックアップする必要があります。

4. HPOprMA\_update.zip を一時フォルダに展開し、opr-config-server.war を次のフォルダにコピーします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HPBSM/opr/webapps
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

5. 次のコマンドを実行して、ソフトウェア更新から新しい war ファイルをデプロイします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/opr/bin/oprcfg-configuration.sh -setup omi
```

**Windows の場合:**



```
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\bin\oprcfg-configuration.vbs -setup omi
```

6. 次のコマンドを実行して、BSM サービスを開始します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm start
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStart.bat
```

## 一般的な BSM 環境での追加のソフトウェア更新のインストール

一般的な BSM 環境では、BSM DPS と BSM GWS を同じシステムで使用できます。一般的な BSM 環境で追加のソフトウェア更新をインストールするには、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行して、現在の opr-config-server.war のバージョンをチェックします。

**Linux の場合:**

```
cd /opt/HP/BSM/opr/webapps
```

```
/opt/HP/BSM/opr/support/what.sh ./opr-config-server.war
```

**Windows の場合:**

BSM がインストールされているドライブに移動します。

```
cd /d %TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

```
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\support\what.vbs opr-config-server.war
```

**注:** バージョン番号が 09.23.174 より下である場合、次の手順に進んでください。バージョン番号が 09.23.174 以上である場合は、現在の BSM インストールに必要なソフトウェア更新が既に含まれているため、この項の残りのステップは実行不要です。

2. 次のコマンドを実行して、BSM サーバで実行中の BSM サービスを停止します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm stop
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStop.bat
```

3. 次のフォルダにある既存の opr-config-server.war ファイルをバックアップします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HPBSM/opr/webapps
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

opr-config-server.war ファイルを別のフォルダにバックアップする必要があります。

4. HPOprMA\_update.zip を一時フォルダに展開し、opr-config-server.war を次のフォルダにコピーします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HPBSM/opr/webapps
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\opr\webapps
```

5. 次のコマンドを実行して、ソフトウェア更新から新しい war ファイルをデプロイします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/opr/bin/oprcfg-configuration.sh -setup omi
```

**Windows の場合:**

```
cscript %TOPAZ_HOME%\opr\bin\oprcfg-configuration.vbs -setup omi
```

6. 次のコマンドを実行して、BSM サービスを開始します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/scripts/run_hpbsm start
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\SupervisorStart.bat
```

## OMi MP for Infrastructure バージョン 1.10 のインストール

OMi MP for Infrastructure バージョン 1.10 のインストールの詳細は、『OMi Management Pack for Infrastructure インストールガイド』の「BSM での OMi MP for Infrastructure バージョン 1.10 のインストール」の章を参照してください。

## BSM または OMi での OMi MP for Microsoft Active Directory バージョン 1.00 のインストール

OMi MP for Microsoft Active Directory を BSM サーバ(Linux または Windows) または OMi サーバ(Linux または Windows) にインストールするには、MPDVD を使用します。この項では、OMi MP for Microsoft Active Directory を BSM サーバまたは OMi サーバにインストールする手順について説明します。

**注:** BSM 分散環境では、OMi MP for Microsoft Active Directory がすべての BSM サーバ(BSM DPS および BSM GWS) にインストールされている必要があります。インストールを進める前に、Monitoring Automation が実行中であることを確認する必要があります。ステータスを確認するには、BSM コンソールにログオンし、**[管理]** > **[セットアップと保守]** > **[サーバデプロイメント]** に移動して、Monitoring Automation が有効かどうかを確認します。

## Linux BSM または OMi サーバの場合

OMi MP for Microsoft Active Directory を Linux BSM/OMi サーバにインストールするには、以下の手順を実行します。

1. root ユーザとしてログオンします。
2. コマンド `umask 022` を入力して、`umask` を設定します。
3. コマンド `mkdir /<mount_point>` を入力して、DVD または電子メディアをマウントするディレクトリを作成します。

例: `mkdir /dvdrom`

4. DVD をディスクドライブに挿入するか、電子メディアのインストールパッケージをコピーし、次のコマンドを使用してマウントします。

DVD の場合: `mount /dev/<dvdrom_drive_name> /<mount_point>`

電子メディアの場合: `mount -o loop <e-media> /<mount_point>`

- ディレクトリを `/<mount_point>` に変更します。
- 次のコマンドを実行します。

```
./mpinstall.sh -i [-h|help]
```

次の表を参照して、ロケールに応じたコマンドを実行します。

DVD	MP ロケールが BSM ロケールと同じ場合	MP ロケールが BSM ロケールと異なる場合
英語の DVD	<code>./mpinstall.sh -i</code>	<code>./mpinstall.sh -i</code>
英語以外の DVD	<code>./mpinstall.sh -i</code>	<code>./mpinstall.sh -i -locale &lt;mplocale&gt;</code>

例: BSM が簡体中国語ロケールではない場合に、簡体中国語ロケールで OMi MP for Microsoft Active Directory をインストールするには、次のコマンドを指定します。

```
./mpinstall.sh -i -locale zh_CN
```

**注:** 次のコマンド オプションを使用できます。

```
mpinstall.sh -i [-locale <MP ロケール>] [-h|help]
```

`-i`: Management Pack をインストールします。

`-locale`: インストールするロケール専用の Management Pack。

`-h|-help`: ヘルプメッセージを表示します。

`<MP ロケール>` は次のように指定できます。

- `zh_CN`: 簡体中国語ロケール
- `ja`: 日本語ロケール

- エンドユーザ使用許諾契約書 (EULA) に同意する場合は、**Yes** または **Y** と入力します。使用許諾契約書に同意しない場合は、**No** または **N** と入力します。

**注:** 使用許諾契約書 (EULA) に同意しない場合、OMi MP for Microsoft Active Directory はインストールされません。

インストールが完了すると、HP OMi Management Pack for Microsoft Active Directory のインストールが終了したことを示すメッセージが表示されます。

## Windows BSM または OMi サーバの場合

OMi MP for Microsoft Active Directory を Windows BSM または OMi サーバにインストールするには、以下の手順を実行します。x

1. DVD をディスクドライブに挿入するか、電子メディアのインストールパッケージをコピーし、展開します。
2. コマンド プロンプトを開き、<DVD-ROM> または電子メディアのディレクトリに移動して、次のコマンドを実行します。

```
cscript /nologo mpinstall.vbs -i [-locale <mplocale>] [-h|-help]
```

次の表を参照して、ロケールに応じたコマンドを実行します。

DVD	MP ロケールが BSM ロケールと同じ場合	MP ロケールが BSM ロケールと異なる場合
英語の DVD	cscript /nologo mpinstall.vbs -i	cscript /nologo mpinstall.vbs -i
英語以外の DVD	cscript /nologo mpinstall.vbs -i	cscript /nologo mpinstall.vbs -i -locale <MP のロケール>

例: BSM が簡体中国語ロケールではない場合に、簡体中国語ロケールで OMi MP for Microsoft Active Directory をインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
cscript /nologo mpinstall.vbs -i -locale zh_CN
```

**注:** 次のコマンド オプションを使用できます。

```
cscript /nologo mpinstall.vbs -i [-locale <MP ロケール>] [-h|help]
```

-i: Management Pack をインストールします。

-locale: インストールするロケール専用の Management Pack。

-h|-help: ヘルプメッセージを表示します。

<MP ロケール> は次のように指定できます。

- zh\_CN: 簡体中国語ロケール
- ja: 日本語ロケール

3. エンドユーザー使用許諾契約書 (EULA) に同意する場合は、**Yes** または **Y** と入力します。使用許

諸契約書に同意しない場合は、**No** または **N** と入力します。

インストールが完了すると、HP OMi Management Pack for Microsoft Active Directory のインストールが終了したことを示すメッセージが表示されます。

## Operations Orchestration (OO) フローのインストール

OMi MP for Microsoft Active Directory の OO フローでは、IT プロセスの自動化とランブックの自動化が可能です。OO フローの詳細は、Operations Orchestration のドキュメントを参照してください。次の項では、OMi MP for Microsoft Active Directory での HP OO Studio (バージョン 9.0x) の OO フローのインストールについて説明します。

**注:** OMi MP for Microsoft Active Directory に付属する OO フローは、HP Operations Manager (HPOM) サーバで管理される Smart Plug-in でアプリケーションを監視するデプロイメントシナリオでのみ使用できます。この場合、OMi MP for Microsoft Active Directory に含まれた OO フローを OO サーバにインストールし、OMi-OO 統合を通じて OO フローを起動できます。OMi-OO 統合の詳細は、『BSM - Operations Orchestration Integration Guide』を参照してください。

## OO フローのアップロード

OMi MP for Microsoft Active Directory から OO フローをアップロードするには、次の手順を実行します。

1. BSM で次のディレクトリに移動します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/conf/opr/oo
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\conf\opr\oo
```

2. **HP0prOOADS90.jar** を、HP OO Studio (バージョン 9.0x) がインストールされているシステムの一時ディレクトリにコピーします。

次のコマンドを実行して、OO フローをインストールおよびアップロードします。

```
java -jar -Xmx1024m "<temp>/HP0prOOADS90" -centralPassword <centralpassword>
```

**注:** コンテンツのインストールの詳細は、『HP Operations Orchestration Software Development Kit Guide』の「Installing the content」を参照してください。

HP OO Studio を使用して、次の場所から OO フローにアクセスできます。

../Library/Operations Management/..

3. BSM コンソールから、OO フローを CI にマッピングし、OO フローの入力変数を CI 属性にマッピングします。

BSM では、**[管理] > [統合] > [Operations Orchestration]** をクリックします。

OMi では、**[管理] > [操作コンソール] > [ランブック マッピング]** をクリックします。

## ライセンスの適用

この項では、ライセンスの更新とアクティブ化について説明します。

**注:** ライセンスの取得の詳細は、「[ライセンス](#)」を参照してください。


新しいライセンスでデプロイメントを更新し、ライセンスをアクティブ化するには、次の手順を実行します。

1. [ライセンス管理] に移動します。

BSM で **[管理] > [プラットフォーム] > [セットアップと保守] > [ライセンス管理]** をクリックします。

OMi では、**[管理] > [セットアップと保守] > [ライセンス管理]** をクリックします。

ライセンス管理では、名前、ライセンスのタイプ、期限切れまでの残り日数、有効期限、ライセンス数などの情報が表示されます。

2.  をクリックして [ライセンスの追加] ダイアログ ボックスを開き、使用する .dat ファイルを検索します。

**注:** .dat ファイルは [www.hp.com/software/licensing](http://www.hp.com/software/licensing) からダウンロードできます。

**注:** インストール後のライセンスアクティブ化には遅延があります。ライセンスが自動的にアクティブ化されない場合、ステップ 3 を実行する必要があります。

3. (オプション) ライセンスをアクティブ化するには、[ライセンス管理] ウィンドウの下にある **[サーバデプロイメント]** リンクをクリックします。

## OMi MP for Microsoft Active Directory のインストールの確認

この項では、Linux および Windows BSM サーバでの OMi MP for Microsoft Active Directory のインストールの確認について説明します。

OMi MP for Microsoft Active Directory のインストールは、次の手順で確認できます。

- 以下の場所で BSM GWS、BSM DPS、および BSM の一般サーバのログファイルのエラーをチェックします。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/log/mpinstall.log
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\log\mpinstall.log
```

- 次の場所をチェックします。

BSM では、**[管理] > [オペレーション管理] > [セットアップ] > [コンテンツ パック]** をクリックします。

[コンテンツ パック定義] ペインに、**OMi Management Pack for Microsoft Active Directory** が表示されている必要があります。

OMi では、**[管理] > [セットアップと保守] > [コンテンツ パック]** をクリックします。

[コンテンツ パック定義] ペインに、**OMi Management Pack for Microsoft Active Directory** が表示されている必要があります。

- BSM サーバにインストールされている OMi MP をリストするには、以下のコマンドを実行します。

**Linux の場合:**

```
/opt/HP/BSM/bin/ContentManager.sh -username <BSMusername> -password <BSMpwd> -l
```

**Windows の場合:**

```
%TOPAZ_HOME%\bin\ContentManager.bat -username <BSMusername> -password <BSMpwd> -l
```

**注:** ContentManager.bat または ContentManager.sh コマンドで、コンテンツ パックの名前とバージョンがリスト表示されます。

**注:** 次の場所に、BSM GWS と BSM DPS の両方の OMi ログファイルがあります。

**Linux の場合:** /opt/HP/BSM/log/EJBContainer/opr-configserver.log

**Windows の場合:** %TOPAZ\_HOME%\log\EJBContainer\opr-configserver.log



## 第3章: 作業の開始

ここでは、OMi MP for Microsoft Active Directory を使用した Microsoft Active Directory サーバインスタンスの監視に必要なタスクについて説明します。

BSM コンソールでの作業の開始の詳細については、「[BSM コンソールでの作業の開始](#)」を参照してください。

OMi コンソールでの作業の開始の詳細については、「[OMi コンソールでの作業の開始](#)」を参照してください。

### BSM コンソールでの作業の開始

ここでは、OMi MP for Microsoft Active Directory を使用して Active Directory サーバを監視する手順を詳しく説明します。

#### タスク 1: BSM コンソールへのノードの追加

**注:** RTSM にノードが既に存在する場合、このステップをスキップしてタスク 2 に進むことができます。

監視を始める前に、BSM コンソールにノードを追加する必要があります。以下の手順を実行します。

1. [オペレーション管理の管理] から [モニタ対象ノード] マネージャを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [セットアップ] > [モニタ対象ノード]

2. [ノード ビュー] ペインで [事前定義済みのノード フィルタ] > [モニタ対象ノード] をクリックし、\* をクリックしてから、[Computer] > [Windows] または [UNIX] をクリックします。[モニタ対象ノードの新規作成] ウィンドウが表示されます。
3. [プライマリ DNS 名] を指定し、[IP アドレス] を確認します。
4. ノードの [オペレーティングシステム]、[プロセッサアーキテクチャ] をドロップダウンリストから指定し、[OK] をクリックします。

新しく作成されたノードは、ランタイム サービス モデル (RTSM) の構成アイテム (CI) インスタンスになります。

**注:** Operations Agent が稼働するノードは、OMi サーバに対して有効にしてから、証明書を付与する必要があります。

## タスク 2: トポロジ同期設定の確認


注: ノードまたは CI を HP Operations Manager で監視している場合、トポロジ同期の設定を確認することをお勧めします。

トポロジ同期設定を確認するには、以下の手順に従います。

1. [オペレーション管理の管理] から [インフラストラクチャ設定] を開きます。  
**[管理] > [プラットフォーム] > [セットアップと保守] > [インフラストラクチャ設定]**
2. [インフラストラクチャ設定] マネージャで、[アプリケーション] > [オペレーション管理] を選択します。
3. [オペレーション管理] の [HPOM トポロジ同期設定] で、Topology Sync のパッケージにはトポロジ同期に使用するパッケージが含まれます。他の Topology Sync パッケージとともに、**default;nodegroups;operations-agent;HPOprSys;HPOprAds** があることを確認してください。

## タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ

Microsoft Active Directory 検出アスペクトにより、環境内の Active Directory Domain Controller CI を検出できます。追加した管理対象ノード上の Active Directory Domain Controller CI を検出するには、Microsoft Active Directory 検出アスペクトをデプロイする必要があります。

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。  
**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト]**
2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [アスペクト] を選択します。
3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで、[Microsoft AD 検出] を選択し、 [項目の割り当てとデプロイ] をクリックします。項目の [割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. [構成アイテム] タブで検出アスペクトをデプロイする Windows Node CI をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. [必要なパラメータ] タブで、[次へ] をクリックします。

注: Microsoft Active Directory 検出アスペクトには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

6. [すべてのパラメータ] タブで [次へ] をクリックします。

7. (オプション)割り当てを直ちに有効化しない場合は、**[割り当てオブジェクトの有効化]** チェックボックスを外します。**[割り当ておよび調整]** ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

**注:** Microsoft Active Directory 検出アスペクトをデプロイすると、「割り当ておよびデプロイメント ジョブを作成しました」というメッセージが表示されます。**[管理]** > **[オペレーション管理]** > **[モニタリング]** > **[デプロイメント ジョブ]** を選択し、デプロイメント ジョブのステータスを確認します。

## タスク 4: 検出の確認

Microsoft Active 検出アスペクトをデプロイした後、トップビューに CI が表示されていることを確認する必要があります。

トップビューの CI を表示するには、次の手順を実行します。

1. BSM コンソールで **[MyBSM]** をクリックします。
2. ドロップダウンリストから **[トップビュー]** を選択します。**[トップビュー]** ページが表示されます。
3. **[トップビュー]** ページで **AD\_Logical\_View** を選択します。トップビューに CI が表示されています。

## タスク 5: Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ

**Monitoring Automation for Composite Applications** ライセンスを使用している場合、Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトを Domain Controller CI にデプロイできます。Microsoft Active Directory 管理テンプレートのデプロイの詳細は、「[タスク 5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特定とデプロイ](#)」を参照してください。

**Monitoring Automation for Servers** ライセンスを使用している場合、Microsoft Active Directory アスペクトをデプロイできます。Microsoft Active Directory アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

### タスク 5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特定とデプロイ

CI が SiteScope や DDM などの他のソースによってすでに設定されていても、Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイは**必要**です。詳細については、「[タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。


Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイする前に、次の推奨事項に従って、それぞれの環境に適した Microsoft Active Directory 管理テンプレートを特定する必要があります。

- Microsoft Active Directory デプロイメントの基本機能 (Microsoft Active Directory サーバの可用性と基本的なパフォーマンスなど)を監視したい場合は、基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイします。
- Microsoft Active Directory サーバの詳細な監視や詳細パフォーマンスなど、Microsoft Active Directory デプロイメントの基本機能と高度な機能を監視するには、詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイします。
- エージェントおよびエージェントレス監視を行うには、ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイします。


Microsoft Active Directory 管理テンプレートを Domain Controller CI にデプロイするには、以下の手順を実行します。


1. [管理テンプレートおよびアспект] ペインを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアспект]

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft Active Directory] > [Microsoft Active Directory 管理テンプレート] を選択します。
3. [管理テンプレートおよびアспект] ペインでデプロイする管理テンプレートをクリックし、 [項目の割り当てとデプロイ] を選択します。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. [構成アイテム] タブで管理テンプレートを割り当てる Active Directory Domain Controller CI をクリックします。[次へ] をクリックします。
5. [必要なパラメータ] タブで、[次へ] をクリックします。

**注:** Microsoft Active Directory 管理テンプレートには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

6. [すべてのパラメータ] タブでは、パラメータのデフォルト値を変更できます。パラメータを編集するには、以下の手順を実行します。
  - a. パラメータをダブルクリックするか、リストで選択してから  をクリックします。[パラメータの編集] ウィンドウが開きます。
  - b. デフォルト値を変更して [OK] をクリックします。

**注:** [すべてのパラメータ] タブでは、パラメータのデフォルト値を上書きできます。各パラメータの値は、管理テンプレートレベルで指定できます。デフォルトでは、エキスパートパラメータとして定義されているパラメータは表示されません。エキスパートパラメータを表示するには、 [エキスパートパラメータの表示] をクリックします。


7. [次へ] をクリックします。

- (オプション)[構成オプション]タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は [割り当てオブジェクトの有効化] チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
- [完了] をクリックします。


## タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ

CI が SiteScope や DDM などの他のソースによってすでに設定されていても、Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイは必要です。詳細については、「[タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Microsoft Active Directory のアスペクトを Domain Controller CI にデプロイするには、以下の手順を実行します。

- [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。  
**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト]**
- [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [アスペクト] を選択します。
- [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインでデプロイするアスペクトを選択し、 [項目の割り当てとデプロイ] をクリックします。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
- [構成アイテム] タブでアスペクトを割り当てる Domain Controller CI を選択し、[次へ] をクリックします。
- [必要なパラメータ] タブで、[次へ] をクリックします。

**注:** Microsoft Active Directory のアスペクトには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

- [すべてのパラメータ] タブでは、パラメータのデフォルト値を変更できます。パラメータを編集するには、以下の手順を実行します。
  - パラメータをダブルクリックするか、リストで選択してから  をクリックします。
  - [パラメータの編集] ウィンドウが開きます。デフォルト値を変更して [OK] をクリックします。
- (オプション)[構成オプション]タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は [割り当てオブジェクトの有効化] チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
- [完了] をクリックします。

## OMi コンソールでの作業の開始

ここでは、OMi MP for Microsoft Active Directory を使用した Microsoft Active Directory サーバインスタンスの監視に必要なタスクについて説明します。



### タスク 1: OMi コンソールへのノードの追加

**注:** ランタイム サービス モデル (RTSM) にノードがすでに存在する場合、このステップをスキップしてタスク 2 に進むことができます。

監視を始める前に、OMi コンソールにノードを追加する必要があります。以下の手順を実行します。

1. [管理] からモニタされるノードを開きます。

[管理] > [セットアップと保守] > [モニタ対象ノード]

2. [ノード ビュー] ペインで [事前定義済みのノード フィルタ] > [モニタ対象ノード] をクリックし、 をクリックしてから、[Computer] > [Windows] または [UNIX] をクリックします。[モニタ対象ノードの新規作成] ダイアログ ボックスが開きます。
3. ノードの [プライマリ DNS 名]、[IP アドレス]、[オペレーティングシステム]、[プロセッサアーキテクチャ]、およびノードの説明を指定します。リストにない IP アドレスを含めたい場合は、新しい IP アドレスを追加できます。
  - a. [IP アドレス] ツールバーで  をクリックします。[新しい IP アドレスの作成] ダイアログ ボックスが開きます。
  - b. IP アドレスとルーティングドメインを入力します。
  - c. IP アドレスが DHCP サーバによって割り当てられている場合は、[DHCP] チェックボックスを選択します。
  - d. [OK] をクリックします。
4. [モニタ対象ノード] ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。

新しく作成されたノードは、ランタイム サービス モデル (RTSM) の構成アイテム (CI) インスタンスになります。

**注:** HP Operations Agent が稼働するリモート管理対象ノードは、OMi サーバに対して有効にしているため、証明書を付与する必要があります。

注: Operations Agent が稼働するノードは、OMi サーバに対して有効にしてから、証明書を付与する必要があります。

## タスク 2: トポロジ同期設定の確認


注: ノードまたは CI を HP Operations Manager で監視している場合、トポロジ同期の設定を確認することをお勧めします。

トポロジ同期設定を確認するには、以下の手順に従います。

1. [操作コンソールの管理] から [インフラストラクチャ設定] を開きます。  
**[管理] > [セットアップと保守] > [インフラストラクチャ設定]**
2. [インフラストラクチャ設定] マネージャで、[アプリケーション] > [オペレーション管理] を選択します。
3. [オペレーション管理] の [HPOM トポロジ同期設定] で、Topology Sync のパッケージにはトポロジ同期に使用するパッケージが含まれます。他の Topology Sync パッケージとともに、**default;nodegroups;operations-agent;HPOprSys;HPOprAds** があることを確認してください。

## タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ

Microsoft Active Directory 検出アスペクトにより、環境内の Active Directory Domain Controller CI を検出できます。追加した管理対象ノード上の Active Directory Domain Controller CI を検出するには、次の手順に従って Microsoft Active Directory 検出アスペクトをデプロイする必要があります。

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。  
**[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト]**
2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [アスペクト] を選択します。
3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで、[Microsoft AD 検出] を選択し、 [項目の割り当てとデプロイ] をクリックします。項目の [割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. [構成アイテム] タブで検出アスペクトをデプロイする Windows Node CI をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. [必要なパラメータ] タブで、[次へ] をクリックします。

**注:** Microsoft Active Directory 検出アスペクトには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

6. **[パラメータ サマリ]** タブで、**[次へ]** をクリックします。
7. オプション: 割り当てを直ちに有効化しない場合は、**[割り当ての有効化]** チェックボックスを外します。**[割り当ておよび調整]** ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

**注:** Microsoft Active Directory 検出アスペクトをデプロイすると、「割り当ておよびデプロイメント ジョブを作成しました」というメッセージが表示されます。デプロイメント ジョブのステータスを確認するには、**[管理]** > **[監視]** > **[デプロイメント ジョブ]** を選択します。

## タスク 4: 検出の確認

検出アスペクトをデプロイした後、**[360° View]** に CI が表示されていることを確認する必要があります。  
**[360° View]** に CI を表示するには、次の手順を実行します。

1. OMi コンソールで、**[ワークスペース]** > **[ダッシュボード]** > **[360° View]** をクリックします。
2. **[360° View]** で **AD\_Logical\_View** ビューを選択します。**[360° View]** に CI が表示されています。

## タスク 5: Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ

**Monitoring Automation for Composite Applications** ライセンスを使用している場合、Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトを Domain Controller CI にデプロイできます。Microsoft Active Directory 管理テンプレートのデプロイの詳細は、「[タスク 5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特定とデプロイ](#)」を参照してください。Microsoft Active Directory アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

**Monitoring Automation for Server** ライセンスを使用している場合、Microsoft Active Directory のアスペクトをデプロイできます。Microsoft Active Directory アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。



## タスク 5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特定とデプロイ

CI が SiteScope や DDM などの他のソースによってすでに設定されていても、Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイは必要です。詳細については、「[タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイする前に、次の推奨事項に従って、それぞれの環境に適した Microsoft Active Directory 管理テンプレートを特定する必要があります。

- Microsoft Active Directory デプロイメントの基本機能 (Microsoft Active Directory サーバの可用性と基本的なパフォーマンスなど) を監視したい場合は、基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイします。
- Microsoft Active Directory サーバの詳細パフォーマンスなど、Microsoft Active Directory デプロイメントの基本機能と高度な機能を監視するには、詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイします。
- エージェントおよびエージェントレス監視を行うには、ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイします。


Microsoft Active Directory 管理テンプレートを Domain Controller CI にデプロイするには、以下の手順を実行します。

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト]

2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。


[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [管理テンプレート]


3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインでデプロイする管理テンプレートをクリックし、 [項目の割り当てとデプロイ] を選択します。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. [構成アイテム] タブで管理テンプレートを割り当てる Active Directory Domain Controller CI をクリックします。[次へ] をクリックします。
5. [必要なパラメータ] タブで、[次へ] をクリックします。

**注:** Microsoft Active Directory の管理テンプレートには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

6. [パラメータ サマリ] タブでは、パラメータのデフォルト値を変更できます。パラメータを編集するには、以

下の手順を実行します。

- a. パラメータをダブルクリックするか、リストで選択してから  をクリックします。[パラメータの編集] ウィンドウが開きます。
- b. デフォルト値を変更して **[OK]** をクリックします。


**注:** [パラメータ サマリ] タブでは、パラメータのデフォルト値を上書きできます。各パラメータの値は、管理テンプレートレベルで指定できます。デフォルトでは、エキスパートパラメータとして定義されているパラメータは表示されません。エキスパートパラメータを表示するには、 **[エキスパートパラメータの表示]** をクリックします。

7. **[次へ]** をクリックします。
8. オプション: [構成オプション] タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当ての有効化]** チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
9. **[完了]** をクリックします。


## タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ

CI が SiteScope や DDM などの他のソースによってすでに設定されていても、Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイは必要です。詳細については、「[タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Microsoft Active Directory のアスペクトを Domain Controller CI にデプロイするには、以下の手順を実行します。

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。  
**[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト]**
2. [構成フォルダ] ペインで、**[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [アスペクト]** を選択します。
3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインでデプロイするアスペクトを選択し、 **[項目の割り当てとデプロイ]** をクリックします。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. **[構成アイテム]** タブでアスペクトを割り当てる Domain Controller CI を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. **[必要なパラメータ]** タブで、**[次へ]** をクリックします。

**注:** Microsoft Active Directory のアスペクトには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

6. **[パラメータ サマリ]** タブでは、パラメータのデフォルト値を変更できます。パラメータを編集するには、以下の手順を実行します。
  - a. パラメータをダブルクリックするか、リストで選択してから  をクリックします。
  - b. **[パラメータの編集]** ウィンドウが開きます。デフォルト値を変更して **[OK]** をクリックします。
7. オプション: **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当ての有効化]** チェックボックスを外します。**[割り当ておよび調整]** ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

# ドキュメントのフィードバックを送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールで[ドキュメント制作チーム](#)までご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

## Feedback on インストールガイド (OMi Management Pack for Microsoft Active Directory 1.00)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。